

# 第21回 宮城県高等学校演劇コンクール

第16回東北地区高等学校演劇コンクール宮城県予選

プログラム



期 日 ・ 1983 年11月30日(水)~12月1日(木)

会 場 ・ 仙 台 市 民 会 館 小 ホ ー ル

主 催 ・ 宮 城 県 教 育 委 員 会

宮 城 県 高 等 学 校 演 劇 協 議 会



ご あ い さ つ

宮城県高等学校演劇協議会  
会長 高橋 政之助

本年度も、ここに宮城県高等学校演劇コンクールを開催することになりました。

この大会は、本県高等学校における演劇活動の充実振興を図り、学校や地域における芸術・文化の向上を期するとともに、生徒のより豊かな情操を養うことを目的として、昭和38年から毎年開催して参りましたが、年々盛会の一途をたどり、今年は21回を迎えることができました。

これは、本大会の意義や目的が各高等学校において正しく理解され、これまでの実績が広く学校内外に認められた結果でありまして誠に喜びに堪えないところであります。

本大会も、昨年は第20回という一つの節目を迎え、多年にわたり本県高等学校演劇の発展に尽された関係各位に敬意と感謝の意を表するとともに、これまでの大会の成果を回顧し、これを契機として今後一層の隆盛を祈念いたしました。今年は、その第一歩を踏み出した年でありまして、また本大会が予選を兼ねている東北大会は本県仙台市において開催することになっております。

それだけに、本大会に出場する各学校の生徒諸君は、日ごろの活動の成果を十分に発揮し、高校生若さと情熱を傾けた舞台を展開して観客の皆様にご満足いただける大会にさせていただきたいと切に希望いたしております。

特に、本大会に出場する11校は、それぞれ地区のコンクールにおいて優れた舞台成果を挙げ、選抜された学校ですから演技・演出はもちろんのこと、装置、照明、効果、衣裳・メイクアップなど、すべての部門で東北大会に通じるハイレベルの成果を披露してくれるものと期待しております。

終わりになりましたが、この大会を主催して下さった宮城県教育委員会並びにご後援いただいた各機関、団体のご支援・ご協力に衷心から感謝申し上げます、ご挨拶といたします。

審 査 員

全国高等学校演劇協議会 豊 博 秋 氏  
 東北地区高等学校演劇協議会 大 谷 駿 雄 氏  
 宮城県高等学校演劇協議会 阿 部 順 夫 氏  
 俳 優 田 部 初 枝 氏

< 式 次 第 >

◇開会式 11月30日(水)

1. 開会宣言
2. 挨拶
3. 審査員紹介
4. 日程説明、諸連絡

◇閉会式 12月1日(木)

1. 審査講評
2. 審査結果発表
3. 表彰
4. 挨拶
5. 閉会宣言

< 大 会 日 程 >

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
第1日 11月30日(水)	舞 台 準 備	開 会 式	上演① 多賀城	上演② 塩釜女子	上演③ 常盤木	上演④ 名取	上演⑤ 三島	上演⑥ 名取北	顧問 研修会			
第2日 12月1日(木)		上演⑦ 仙工	上演⑧ 聖和	上演⑨ 南郷農	上演⑩ 黒川	上演⑪ 白百合	後夜祭	閉会式				

< 当 日 役 割 分 担 >

	総務	受 案 接 付 内 待	幕 討 間 論	舞 進 計 台 行 時	会 場	警 備	表 開 会 彰 閉 式	舞 台	記 録	放 送
11 / 30(水)	実行委	聖和 南郷農	聖和 白百合	黒川 泉	宮城 女子商	黒川	女子商	仙工 東北	育英	三女
12 / 1(木)	実行委	東北	聖和 常盤 東宮	ウルスラ 三女	朴三 沢島 聖和	仙工	ウルスラ	育英	東北	三女

- 注 1. 上演後幕間討論を行います。  
 2. 上演中の会場内でのフラッシュ使用撮影は固くお断りします。  
 3. 上演時間は多少変わることがありますのでご了承ください。

多賀城高等学校

\*顧問 斎藤 秀雄  
\*部長 西村 敬

\*作 竹富 保 イントロダクション

スタッフ		キャスト	
演出	結城ゆかり(2)	男 1	西村 敬(2)
助演出	佐々木百合江(2) 菊池 恵美(1)	男 2	鈴木 直純(2)
舞台監督	吉田 弘道(2)	男 3	佐藤 光一(2)
装 置	西村 敬(2) 鈴木 直純(2)	男 4	吉田 弘道(2)
	佐藤 光一(2) 吉田 弘道(2)	女 1	岸浪 美香(1)
	その他	女 2	菊池 恵美(1)
照 明	鈴木 純子(2) 田村 裕美(1)	女 3	菅野 和子(1)
	その他	女 4	今野 幸子(1)
効 果	鈴木 真弓(2) 守谷 哉美(1)	赤 子	佐々木百合子(2)
	その他		
衣 裳	結城ゆかり(2) 田畑 祥子(1)		
	その他		

あらすじ

偶然ピラを拾った男4人と女4人とが、その不思議な出来事を各々の秘密にしたまま、自分達の言いたいことをしゃべりまくる。しかし、いつも何気なく通り過ぎていた赤いマフラーに気づき、それを捕えようとする。だが、ようやく捕えることのできた赤いマフラーの主を逃してしまふ。さて、赤いマフラーは本当に飛んでいたのだろうか？そして、見つけることはできるのだろうか？

しかし、彼らはそれを信じ、自分達それぞれの道を歩き始めた。

演出のことば

ずうっとずうっとずうっと以前から、先輩達の代から、念願だった「イントロダクション」の上演。圧倒的支持とその熱いご要望にお答えする為、演劇部満場一致により、今ここに花を咲かせます。あらゆる苦境と困難も“おしん”になって耐えてきました。E劇をつくる為、みんながオールラウンドで総参加!!ある時はキャストある時はメーク、そして又ある時は照明……その正体は!? 公私ともに御多忙です!!やる気充分ノ迫力満点ノ一大傑作ノ豪華絢爛ノ(自信過剰!?)何はともあれ、我多高個性派集団の演技ぶりをとくと御覧下さいませ。イントロダクション万歳!!

宮城県塩釜女子高等学校

\*顧問 石山 義章  
\*部長 足立 雅子

\*作 雑賀 聖 にび色の砦

スタッフ		キャスト	
演出	平井 智子(2) 足立 雅子(2)	主 婦	岩佐 奈美(3)
舞台監督	本郷 夕子(2) 友杉 和子(3)	強 盗	相沢 まみ(3)
装 置	渡辺 宏江(2) 岩佐 奈美(3)	借 金	平井 智子(2)
	相沢 まみ(3) 足立 雅子(2)	情 婦	三品 美樹(2)
	林 知加(2) 鈴木 由紀(1)	サークル	遠藤 文恵(2)
	鈴木加代子(1)	押し売り	足立 雅子(2)
照 明	吉川 純加(2) 友杉 和子(3)		
	本郷 夕子(2) 戸田 洋子(1)		
効 果	赤間 由美(2) 風間 美紀(2)		
	遠藤 文恵(2) 渡辺 幸恵(1)		
衣 裳	村山 明美(2) 三品 美樹(2)		

あらすじ

閑静な住宅地。退屈しのぎにイタズラ電話をかけまくる主婦。そこへ……

“ピンポン”と入って来たのは女学生強盗そして、招かざる客が、来るわ来るわ……

主婦はつく、何をつく、うそをつく

うそをつきつき、つきつづく

退屈という水面に、うその一石を投じた主婦。

波紋は広がる。当惑する主婦の顔。

崩れ去る“うそ”

主婦の家庭<砦>は「にび色だった……」

演出のことば

“さみしい”って感じたことありませんか？さみしいって思えることはとってもすばらしいことと思うんです。そう思うことが、ふだんあたりまえのように私達をとりまいてるもののありがたみをわからせてくれることにつながるような気がするから。この劇の主婦だってさみしさから逃れたかっただけなのだと思うんです。でもを操ろうとして逆に操られているんだからちょっと哀しいけど……。

今回、キャスト兼演出ということで、すんごくたいへんですが、精一杯がんばります。

常盤木学園高等学校

\* 顧問 小野寺典世, 今野 仁  
木村 芳子  
\* 部長 加藤 琴絵 (3年)

\* 作 演劇部 墮天使—だてんし—

## ◎ スタッフ

演出 天野 敏恵(3)  
助手 鈴木 一恵(2)  
舞台監督 伊藤 明実(2)  
助手 今野 美香(1)  
装 置 熊野ゆみ子(1) 杉山知佳子(3)  
斎藤 洋子(3)  
照 明 菱沼 明美(2) 菅原 正子(3)  
効 果 宇津沢圭子(2) 相原 幸枝(3)  
大森 和枝(3) 赤羽 麻野(3)  
衣 装 松井 明美(3) 郷家 明美(3)

## ◎ キャスト

ま り 船越 佳子(3)  
京 子 佐藤 陽子(3)  
千 夏 加藤 琴絵(3)  
A 大森 和枝(3)  
B 郷家 明美(3)  
C 菱沼 明美(2)  
コ ロ ス 斎藤 洋子(3)  
赤羽 麻野(3)  
鈴木 一恵(2)  
宇津沢圭子(2)  
熊野ゆみ子(1)  
幼少まりの声 杉山知佳子(3)  
友 達 1 菅原 正子(3)  
2 松井 明美(3)  
3 相原 幸枝(3)

## ◎ あらすじ

墮天使—だてんし—  
墮ちてくれたのは真白な羽  
墮ちてくれたのは……………

その時、少女は悪魔でした。

## ◎ 演出のことば

演劇部員18人が、キャスト・スタッフすべてに全力を出しきってきました。  
そのすべてをドラマに変えて、  
今、最高の舞台を、お魅せします。

宮城県名取高等学校

\* 顧問 郡山 輝子, 福田 誠  
\* 部長 石井 雅代

\* 作 町井 陽子 山の動く日

## ◎ スタッフ

演 出 石井 雅代(3)  
舞台監督 遠藤 光弘(3)  
森 正義(3)  
浅野 洋子(1)  
装 置 森 正義(3)  
照 明 福田 純子(2)  
高橋 信江(3)  
効 果 三浦 薫(2)  
井上真樹子(2)  
衣 裳 阿部恵久美(2)  
メ イ ク 斎藤 光子(1)

## ◎ キャスト

高山うめ 高橋 信江(3)  
らん 石井 雅代(3)  
とき 平田 美子(2)  
長田はな 井上真樹子(2)  
小川まさ 横山美貴子(2)  
浅野すぎ 浅野 陽子(1)

## ◎ あらすじ

時代は明治末、高山家の娘“らん”が嫁入り先からもどされてきた。事情を知らずただ怒りに震える妹とき。そこに小作人とかけおちした下女まさが現われる。話は意外な結末へ……………。

“山の動く日来たる、かく言うども人われを信ぜじ、山はしばらく眠りしのみ、その昔山はみな火に燃えて動きしものを。人よ、ああ唯これを信ぜよ、眠りし女今ぞ目覚めて動くなる……………”

今、ついに山が動く時が来た!!  
一人の女、らんの目の前で……………

## ◎ 演出のことば

二年前“柳”を上演して以来、私たちの中でいつも“柳”が尾をひいていました。ある日、脚本選定をしていて突然見つけた脚本、それが“山の動く日”でした。山逢いは偶然。でも偶然は必ず出逢いをもたらすわけではありません。この出逢いを何らかの力のめぐり合わせと信じ、又“柳”の尾をふっけるためにもこの脚本を選びました。

女が「女」であるために、苦しく、そして自立できない……若い頃、柳に反発的だったうめが、母親になり、娘のらんはかけおちではなく女の自立を目指す未開の道へ……明治末期を背景に、苦しくも強く生きた女の心の揺れ動きをのがさず表現してみたい。とにかくやってみます。

三島学園女子高等学校

\* 顧問 徳山昭光子, 小栗 典子  
\* 部長 相沢 絵美

\* 作〔創作〕 三島学園演劇部 アベルの末裔たち

## ◎ スタッフ

演出	相沢 絵美(3)	小林 浩美(2)
舞台監督	相沢 朱美(2)	福地 とく(1)
装置	大槻 由香(1)	阿部 弥生(1)
	只木 純子(3)	
照明	名取 千賀(1)	福地 とく(1)
効果	平塚 真紀(1)	大場由紀子(1)
衣装・メイク	高橋 咲子(1)	

## ◎ キャスト

老婆	熊谷 千春(2)
藍	鈴木 宏子(3)
米	藤江 淑(3)
流	岩淵 順子(3)
餓	佐藤 清美(3)
偽	後藤 幸子(2)
怨	小林 浩美(2)

## ◎ あらすじ

主はアベルとその供え物とを顧みられた。しかしカインとその供え物とは顧みられなかった。カインは大いに憤って、顔を伏せた。そこで主はカインに言われた、「なぜあなたは憤るのですか。なぜ顔を伏せるのですか。正しい事をしているのであれば、顔を上げたらよいでしょう。もし正しい事をしていないのであれば、罪が門口に待ち伏せています。それはあなたを慕い求めますが、あなたはそれを治めなければなりません。」カインは弟アベルに言った、「さあ、野原へ行こう。」彼らが野にいたとき、カインは弟アベルに立ちかかってこれを殺した。

(旧約聖書 創世記より)

## ◎ 演出のことば

今回もまた、あせりにあせり精一杯の努力と忍耐でがんばりました。  
どうか、「私達の世界」をのぞいて下さい。

宮城県名取北高等学校

\* 顧問 大石 和彦, 佐野 紘  
\* 部長 姉齒 孝和\* 原作 水上 勉  
\* 脚色 小松 幹生 ブンナよ木からおりてこい

## ◎ スタッフ

演出	早川 和美(3)	
演出助手	佐藤 美雪(2)	羽田 里美(1)
舞台監督	姉齒 孝和(3)	
舞監助手	鈴木 貴和(2)	富田 優子(1)
道具	小原 陽子(3)	手塚 友明(1)
(美術)	佐藤ゆかり(1)	羽田 里美(1)
	嶺岸久美子(1)	富田 優子(1)
照明	菅原むつみ(2)	鹿野 幸枝(3)
	村上 美和(1)	川井 友子(1)
	斎藤 久美(1)	
効果	菅原 広明(3)	猪瀬 幹雄(2)
	渋谷 由美(1)	庄司利恵子(1)
衣裳	片山 貴子(2)	山元 宏美(3)
(メイク)	石川 美香(1)	熊崎 今日子(1)
制作	佐々木まゆみ(2)	渋谷 由美(1)
演奏	折笠 昭吉(3)	金原 英二(2)
	斎藤 禎江(2)	木皿 陽子(2)
	佐藤 直行(2)	梶原 暁美(1)
	今野 誠子(1)	阿部 豊(3)

## ◎ キャスト

声	1	小原 陽子(3)
声	2	佐藤 徳夫( )
ブンナ		富田 優子(1)
子ガエル	1	鹿野 幸枝(3)
	2	嶺岸久美子(1)
	3	渋谷 由美(1)
カエル	1	川井 友子(1)
	2	村上 美和(1)
	3	山元 宏美(3)
	4	片山 貴子(2)
	5	佐藤 美雪(2)
	6	佐藤 徳夫( )
	7	姉齒 孝和(3)
老ガエル		手塚 友明(1)
へ		石川 美香(1)
赤		菅原むつみ(2)
す	1	佐藤ゆかり(1)
ず	2	庄司利恵子(1)
ね		羽田 里美(1)
和		猪瀬 幹雄(2)
百		鈴木 貴和(2)

## ◎ あらすじ

トノサマガエルのブンナは跳躍と木登りが得意で大の冒険好き。けど、ちょっぴり高慢で、他の仲間達を見下しているところのある若者であった。

ある日、ブンナとその仲間は子供達に捕えられ、ガラスの中に入れられてしまう。老ガエルにすすめられるまま、ブンナはこれまでの体験を皆に語る。

前年の秋、ふとしたことから空が飛びたいと言ったブンナはとても高い椎の木に登ることになった。ついに登った椎の木のてっぺん。そこには驚くほど地べたとは異なる世界があった。

ブンナがそこで見たものは……。そしてブンナ達の運命は……。

## ◎ 演出のことば

私達はこの劇の取り組みを7月の始めに決定しました。

この劇をやるに当たっていくつかの難問がありました。一つは舞台の構成で、「椎の木のてっぺん」と「ガラスの中」と「沼」のシーンをそれぞれどのように関連させて設定するかということです。この劇を上演したことのある劇団や舞台装置の本などをあたる等し、なんとか一つの案にまとめました。

この他にもいくつかありますが、全員がそれぞれ一生懸命なんとかここまでやってきました。頭を悩ましただけの成果があるのかどうかはわかりませんが、どうぞじっくり見て下さい。

12月1日(木) 上演7

仙台地区代表

仙台工業高等学校

\*顧問 渡辺繁, 早川克文, 佐竹誠  
\*部長 高橋みゆき

\*作 B・ドゥ・楼 夜野 Blue

スタッフ

演出 高橋みゆき(3) 松平 美樹(1)  
舞台監督 早坂 幸喜(2)  
舞台美術 佐藤 隆次(2) 早坂 健二(2)  
本郷 泰治(2) 宮田 弘二(2)  
照明 岩井 耕次(2) 岩崎 岳(1)  
音響効果 早坂 智(2) 阿部 佳恵(3)  
スタイリスト 河童座  
メイクアップ 河童座  
アーティスト

キャスト

テツ 佐川 敏昭(2)  
まりあ 松平 美樹(1)  
じいや 橋井 信一(2)  
若 小野寺裕史(1)  
ビー 高橋みゆき(3)  
男 高橋 寛(1)

あらすじ

それを教えてしまったらつまらないでしょう。見てのお楽しみ!

演出のことば

工業魂見せたるで!

12月1日(木) 上演8

仙台地区代表

聖和学園吉田高等学校

\*顧問 佐藤喜志夫  
\*部長 阿部千恵子

\*原作 石山浩一郎 面接試験

◎ スタッフ

演出 阿部千恵子(2)  
助演出 大内ゆみ子(1)  
舞台監督 遠藤 美幸(2)  
助舞台監督 佐藤 由美(2)  
装置 庄子八代樹(2) 阿部千恵子(2)  
夷塚 則子(1) 村松 広子(1)  
鈴木 徳子(1)  
照明 高山 恵(1) 遠藤 美幸(2)  
清水 京子(1)  
効果 佐藤 由美(2) 小関かおり(1)  
衣裳 佐藤 由美(2) 小関かおり(1)

◎ キャスト

女教師 大泉喜久江(2)  
女生徒1 渡辺 幸恵(2)  
女生徒2 桐生 直美(1)  
女生徒3 後藤 寛子(2)  
女生徒4 京野 昌子(1)

◎ あらすじ

ウソかホントか……はたまたウソかホントか、ホントかウソか……  
30歳も半ばの女教師が、就職の面接試験を明日にひかえた女生徒に模擬面接をする。が、今日は先生の24回目のお見合の日。模擬面接をしてもお見合いの時間が気になってしまふ先生。そんな先生に対して、生徒たちは次第に怒りがこみ上げてくる。そしてその怒りが生徒たちに“ある事”の模擬テストを起こさせる。さて、その“ある事”とは一体……!?

◎ 演出のことば

一つのお芝居をつくりあげていく時、私たちは必ずいろんな苦勞をします。今回のお芝居では特に“テンポ”に苦勞しました。なんとなく流してしまつては脚本のおもしろさが薄れるし、あまり気負いしすぎると、妙に堅さが出て観る側が疲れてしまう。いつもはのんびり屋の私達は、それこそ必死で日曜日も試験の日も練習練習……。とにかく部員一同精一杯やりました。どうぞ、その成果を御覧下さい。

12月1日(木) 上演9

北部地区代表

宮城県南郷農業高等学校

\*顧問 斎藤 順子

\*部長 鈴木 明美

\*作 岡野奈保美 ある午後

スタッフ

演出 鈴木 明美(3)  
 舞台監督 倉田ゆかり(2)  
 装置 小堤 義裕(2) 加藤 享(2)  
 照明 牛渡 和彦(2) 大崎 真理(1)  
 佐藤 松江(1)  
 効果 日野 久恵(2)  
 衣裳・メイク 伊藤 静子(2)

キャスト

柳 木村智恵子(2)  
 郷内 倉田ゆかり(2)  
 藤野 平 さつき(3)  
 宮口 荒木 友江(1)  
 加藤 須田紀美子(1)  
 松本 繁泉えみ子(2)  
 津田 山田 雄子(1)

あらすじ

ここは、ある女子高の教室。その教室内で一人の生徒のお金がなくなり、生徒指導の教師による生徒の尋問が今はじまろうとしている。はたしてお金は盗まれたのか盗まれたとすれば誰が……。張りつめた空気の中で次第に明らかになってくるのは、体面を重んずるあまり真実を歪めようとする教師の姿であり、友情の在り方に目覚めようとする生徒達の姿である。

演出のことば

男子部員が少ない中での出演者の問題、内容の問題などで、例年のことながら脚本選択が難行。では創作でノという意気込みも、時間がたつにつれて次第に減退……。せまりくるコンクールの日程をにらんで、ぎりぎりを選択したのがこの脚本である。

厳格な女教師・優等生・そして劣等生と、登場人物がやや図式的であるきらいはあるが、盗難事件を通して、友情の在り方、そして体面を重んじる教師の欺瞞が演じ出せればと思っている。

とにかく、練習も準備もこれからが本番。当日まで頑張り続けるしかない。

12月1日(木) 上演10

北部地区代表

宮城県黒川高等学校

\*顧問 川名 又一、遣水 桂子

\*部長 渡辺まゆみ

\*作〔創作〕 川名 又一、演劇部 ○ (あしおと)

◎ スタッフ

演出 柿澤 正己(3)  
 助演 渡辺まゆみ(2)  
 舞台監督 小川 吉美(3)  
 装置 永沢 映美(2) 渡辺紀久美(1)  
 鹿又 晴美(1) 鹿又 正彦(2)  
 照明 高橋 真理(2) 木村 博美(1)  
 渡辺由紀子(1) 赤間 征敏(3)  
 効果 小川 吉美(3) 佐藤よし子(1)  
 小林 幸子(1) 大友美智子(1)  
 衣裳・メイク 渡辺まゆみ(2) 浅野 由美(1)

◎ キャスト

相沢 里美 柿澤 正己(3)  
 鈴木 えみ 渡辺まゆみ(2)  
 石川 章子 渡辺紀久美(1)  
 浅野由美子 木村 博美(1)  
 永井まゆみ 浅野 由美(1)  
 阿部 昌子 小林 幸子(1)  
 山田 勝己 小川 吉美(3)  
 早坂 広 鹿又 正彦(2)  
 安曇 洋子 永沢 映美(2)

◎ あらすじ

舞台は、農村の高校の園芸科3年1組。片隅に押しやられ、劣等感をいだきながらも少しずつ生徒達は成長していきます。

“……でも私は退めませんでした。高校へ入ってから知り合った仲間のおかげです。”

生徒達の聲(あしおと)が聞こえますか……？

◎ 演出のことば

高校生として、今の私達が一番知っている、今の私達にしか表わせない事を劇にしようと、作ってきたのが、この作品です。決してきれいではないけれど、器用ではないけれど精一杯自分なりの生き方をしている若者達を、自慢のチームワークと共にお見せできれば幸いです。

今までとは、一味違った私達をお見せできそうです。

12月1日(木) 上演11

仙台地区代表

仙台白百合学園高等学校

\*顧問 穂積 正一, 桑島千賀子

作 羽根田 新

\*部長 黒田 睦美

\*脚色 演劇部

大きな空にはしごをかけて

スタッフ

演出 渡辺 由里(3)  
 助演出 館沢志寿子(3)  
 舞台監督 桜井ふみ江(3)  
 助舞台監督 高橋いづみ(2)  
 装 置 中沢 洋子(1) 遊佐 美香(3)  
 高橋いづみ(2) 利 京子(1)  
 桜井ふみ江(3) 高橋 知里(2)  
 照 明 菊地 美江(3) 一条 恵美(1)  
 林 美由紀(1) 佐藤 陽子(1)  
 佐藤 博美(2)  
 効 果 横山 真理(3) 後藤 智子(1)  
 千葉 薫(3) 遠藤 美紀(1)  
 山崎真由美(1) 酒井美智世(1)  
 衣 裳 相沢 久子(3) 高橋加奈子(1)  
 渡辺 郁美(1) 秋保 直子(1)  
 黒田 睦美(2) 大久由加里(1)

キャスト

岡 ひろみ 佐藤 晴美(3)  
 宗方キャプテン 遊佐 美香(3)  
 母 利 京子(1)  
 早川先生 岡本 久美(2)  
 鮎原こずえ 遠藤 美紀(1)  
 部 員 1 渡辺 郁美(1)  
 部 員 2 黒田 睦美(2)  
 部 員 3 相沢 久子(3)  
 部 員 4 佐藤 博美(2)  
 部 員 5 後藤 智子(1)  
 部 員 6 横山 真理(3)  
 部 員 7 佐藤 洋子(1)  
 アンサンブル刑事 横山 真理(3)  
 犯人 後藤 智子(1)  
 患者 相沢 久子(3)  
 佐藤 博美(2)

あらすじ

「人は生まれてからいくつもの可能性に……はしごに出会う。もしお前達が新しいはしごに出会ってその新しいはしごを登る方を選んだらというならそれでもいい。でもそうじゃないなら、ただ夢をあきらめるだけなら、それは挫折することなんだ」

「空の上にたどりつくまで、お前が幾種類のはしごを登るかそれは誰にもわからないけど、空の上についた時のはしごは最高のものになっている」

「さあひろみ、君はどのはしごを登るんだ」

演出のことば

その時その時の自分にできる最高を選択して進んでいくってことを、親たちはいい加減な生き方だと言います。目標を決めて真っすぐ進む友人を見て、〇〇ちゃんはっきりしていると言います。でもお父さん、お母さん昔を思い出して下さい。そして、選択しながら生きていくってことが、案外いい加減じゃないかもしれないってことに気づいて下さい。

この舞台を作っていく段階で、部員たちのものすごいエネルギーとパワーを感じました。それぞれが、ありったけの思いを込めて作った舞台です。

昭和58年度宮城県高等学校演劇コンクール地区大会一覧

\*印創作

◇仙台地区大会(第16回仙台市高等学校演劇祭) 19校参加

10月20日(木)~23日(日) 仙台市民会館小ホール

聖ドミニコ学院高等学校「静かなる朝」原 博作  
 朴沢女子高等学校「ふりかえらずにさよなら」町井陽子作……………衣裳メイク賞  
 仙台向山高等学校「透明な壁の中で」高子 実作……………演技賞(松木幸子)  
 仙台南高等学校「コモンセンス」弘前高校演劇部作  
 仙台高等学校「学校」井関義久作  
 宮城第一女子高等学校「はい、さいなら」橋本栄子作……………演技賞  
 常盤木学園高等学校「墮天使—だてんし—」演劇部作\*……………優良賞  
 聖ウルスラ学院高等学校「幻影」演劇部作\*  
 仙台第一高等学校「青春という名の坂道」演劇部作\*  
 尚綱女学院高等学校「隅田川」榊原政常作  
 聖和学園吉田高等学校「面接試験」石山浩一郎作……………優良賞・音効賞  
 宮城第三女子高等学校「牛肉の特上コース」福田 薫作  
 仙台女子商業高等学校「人形館」渡辺 茂作  
 三島学園女子高等学校「アベルの末裔たち」演劇部作\*……………優秀賞  
 宮城学院高等学校「Precious」演劇部脚色\*  
 仙台育英学園高等学校「アベルの告白」坊丸一平作  
 仙台工業高等学校「Blue」B・ドウ・楼 夜野作\*……………最優秀賞・創作脚本賞  
 仙台白百合学園高等学校「大きな空にはしごをかけて」羽根田新作……………優秀賞  
 東北高等学校「戒・顧」演劇部作\*

◇東部地区大会 11月6日(日) 多賀城高校体育館 4校参加

多賀城高等学校「イントロダクション」竹富 保作……………優秀賞  
 宮城県松島高等学校「試行錯誤」佐々俊之作……………演技賞(佐々木ひろみ)  
 宮城県鼎が浦高等学校「心もしのに、風、炎」まつおただお作……………舞台美術賞  
 塩釜女子高等学校「にび色の砦」雑賀 聖作……………最優秀賞

◇南部地区大会 11月12日(日) 船岡養護学校体育館 5校参加

宮城県名取高等学校「山の動く日」町井陽子作……………舞台美術賞・優秀賞  
 宮城県亘理高等学校「魚、歩きなさい」吉田美彦作、演劇部構成……………音効賞  
 名取北高等学校「ブンナよ木からおりてこい」小松幹生脚色……………照明賞・最優秀賞  
 白石女子高等学校「れくいえむ」町井陽子作……………演技賞  
 宮城県立船岡養護学校「心に響く音」杉山裕信作\*……………創作脚本賞

◇北部地区大会 11月12日(日) 南郷農業高校体育館 4校参加

宮城県中新田高等学校「狂育白書」佐々俊之作……………優良賞  
 宮城県黒川高等学校「登くあしおと」川名又一、演劇部作……………最優秀賞  
 南郷農業高等学校「ある午後」岡野奈保美作……………優秀賞  
 宮城県涌谷高等学校「ある白雪姫の話」松本和子作



宮城県高校演劇コンクールのあゆみ

- 第1回(昭38.11)  
最優秀 尚 綱 「娘たち」
- 第2回(昭39.11)  
最優秀 育 英 「同志の人々」
- 第3回(昭40.11)  
最優秀 仙台第三「轍」  
特別賞 三 島 「伽羅先代萩」
- 第4回(昭41.11)  
最優秀 仙台工 「木龍うるし」  
優 秀 白百合 「スカパンの悪だくみ」  
優 秀 名 取 「次郎案山子」
- 第5回(昭42.11)  
最優秀 宮 城 「静かなる朝」  
優 秀 仙台女商 「母と娘」  
優 秀 電 子 「第三の火の中で」
- 第6回(昭43.11)  
この年より仙台市公民館が主催。仙台市高校演劇祭と称する。  
最優秀 仙台工 「ふきだまり」  
優 秀 宮 城 「唾のユミュリユス」  
優 秀 電 子 「轍」
- 第7回(昭44.11)  
最優秀 仙台工 「面(ますく)」(創)  
優 秀 宮 城 「高等学校数学I」  
優 秀 白百合 「長い長い橋の上で」
- 第8回(昭45.11)  
最優秀 仙台工 「勉強を邪魔する奴は誰だ！」  
優 秀 仙台商 「橋の上」  
優 秀 第三女子 「墨東記」
- 第9回(昭46.11)  
最優秀 名 取 「魔女宣言」  
優 秀 尚 綱 「虫めづる姫君」  
優 秀 聖 和 「遠いふるさと」
- 第10回(昭47.11)  
最優秀 ウルスラ 「ある群れ」  
優 秀 常盤木 「試行錯誤」  
優 秀 白百合 「ある午後」
- 第11回(昭48.11)  
最優秀 名 取 「影ぼうし紀行」  
優 秀 常盤木 「当世幻談」  
優 秀 ドミニコ 「静かなる朝」

- 第12回(昭49.11)  
最優秀 常盤木 「才女ありて」  
優 秀 仙台女商 「試行錯誤」  
優 秀 育 英 「ボンコツ車と五人の紳士」
- 第13回(昭50.11)  
最優秀 名 取 「流れ星四番」  
優 秀 聖 和 「遠いふるさと」  
優 秀 仙 台 「遊びましょ」
- 第14回(昭51.11)  
最優秀 聖 和 「ある群れ」  
優 秀 名 取 「聞いている?ミランダ」(創)  
優 秀 第二女子 「夢の中へ」(創)
- 第15回(昭52.11)  
宮城県教育委員会との共催となる。  
最優秀 常盤木 「三途の川を渡りそこねた少女の話」(創)  
優 秀 聖 和 「薯の煮えるまで」  
優 秀 鼎が浦 「埴生の宿」
- 第16回(昭54.1)  
地区大会(予選)制となる。  
最優秀 東 北 「蜉蝣」(創)  
優 秀 宮 城 「不思議な国のアリス」(創)  
優 秀 常盤木 「松陰」(創)  
優 秀 名 取 「遠くへ行った又三郎」
- 第17回(昭54.12)  
最優秀 朴 沢 「しんでら・げえむ」  
優 秀 仙台第一 「永い冬の終わる頃」(創)  
優 秀 第二女子 「栄光の日」
- 第18回(昭55.12)  
最優秀 黒 川 「無(ガラスの迷路)」(創)  
優 秀 朴 沢 「にび色の砦」  
優 秀 鼎が浦 「蚊遣火」  
優 秀 名 取 「おやめ!眠り犬を起こすのは」
- 第19回(昭56.12)  
最優秀 鼎が浦 「灰スクール」  
優 秀 宮 城 「Daydream believers」(創)  
優 秀 名 取 「柳」
- 第20回(昭57.12)  
最優秀 名取北 「遠くへ行った又三郎」  
優 秀 宮二女 「生姜入りパンを焼く日」(創)  
優 秀 浦 谷 「黒いゲーム」

<大会役員>

大会実行委員 実行委員長 高橋 政之助(仙工)  
副委員長 五十嵐 迪 雄(東北)  
事務局長 阿 部 順 夫(仙高)

- <総 務> 渡辺 喜雄(仙高), 今野 仁(常盤木), 永沢 幸助(向山),  
藤村 延子(仙台女商), 渡辺 繁(仙工), 石山 義章(塩釜女)  
川村 裕子(泉)
- <接 待> 亘理 正子(亘理), 斉藤 尚美(宮城); 小栗 典子(三島),  
斉藤 順子(南郷農), 桑島千賀子(白百合), 駒場 愛子(泉)
- <進 行> 佐藤喜志夫(聖和), 高橋寿美子(仙台女商), 伊藤真理子(朴沢),  
大石 和彦(名取北), 川名 又一(黒川), 菊地 節子(ウルスラ)
- <舞 台> 斉藤 信雄(東北), 遣水 満雄(育英), 斉藤 秀雄(多賀城)  
穂積 正一(白百合), 千葉比呂志(船岡養護), 佐野 紘(名取北)
- <会 場> 早川 俊雄(一女), 内海 郁夫(三女), 徳山昭光子(三島),  
早川 克文(仙工), 伊藤 公二(二女), 前原 一雄(一女)
- <受 付> 大石 孝(尚綱), 程島 秀明(二女), 郡山 輝子(名取),  
松崎さゆり(白石女), 山中 薫(ドミニコ), 松尾 重信(尚綱)
- <警 備> 佐竹 誠(仙工), 高橋 義仁(南), 小野寺典世(常盤木),  
千葉 正昭(涌谷), 吉城 文雄(一高), 福田 誠(名取)
- <舞台技術指導> 金野 倫明, 小野 正宏, 阿部 尚, 松本 尚子, 小野 健市

<生徒実行委員会>

委員長 芳賀 一 弘(東北3)  
副委員長 浅野 三奈子(三女2)  
" 佐藤 紫 乃(二女1)  
書記 渡部 三妙子(宮城2)  
" 石山 律 子(三女2)  
" 石垣 英 典(一高1)  
会計 佐々木 あかね(ドミニコ2)  
" 品川 ゆみ子(女商2)  
" 早坂 健 二(市工2)

。企 画

伊藤 祥 司(東北3)  
石垣 哲 哉( " 1)  
大友 ひろみ(二女3)  
鎌田 由美子(尚綱1)  
後藤 幸 子(三島2)  
富田 亜紀子(ウルストラ1)  
倉嶋 真 紀(女子商3)  
内館 千 里(仙高2)  
斎藤 ひとみ( " 1)  
伊藤 祐 一(育英2)  
谷津 晃 子(泉 2)  
菱沼 明 美(常盤木2)  
菅原 まり子(朴沢1)  
橋端 和 江(ドミニコ2)  
奥田 奈緒美(三女1)  
角川 晴 美(南 1)  
小室 州 一(一高1)

。広 報

佐藤 真由美(朴沢2)  
船迫 美 佳(宮城1)  
鈴木 文 恵(二女3)  
辻 緑(尚綱1)  
寺島 博 美( " 3)  
熊谷 千 春(三島2)  
小林 由 里(ウルストラ1)  
菅井 美 佳( " 1)  
早坂 真由美(女子商3)  
庄子 幸 枝( " 2)  
今野 洋 子(仙高2)  
斎藤 真 二(育英1)  
熊野 ゆみ子(常盤木1)  
渡会 通 子(朴沢1)  
松川 明 子(ドミニコ2)  
真山 幸 江( " 2)  
今野 朱 美(三女1)  
山口 史 訓(東北3)  
斎藤 健 史( " 2)  
内海 敏 子(一女2)  
小山 さゆり( " 2)  
松本 幸 子(向山1)  
近藤 さつき( " 1)  
本郷 睦 美(宮城1)

宮城県高等学校演劇協議会加盟校

尚綱女学院高等学校	宮城県白石女子高等学校
仙台女子商業高等学校	宮城県黒川高等学校
仙台工業高等学校	宮城県多賀城高等学校
東北高等学校	宮城県第二女子高等学校
東北電子工業高等学校	朴沢女子高等学校
聖和学園吉田高等学校	宮城県涌谷高等学校
仙台育英学園高等学校	三島学園女子高等学校
宮城学院高等学校	宮城県仙台第一高等学校
仙台白百合学園高等学校	宮城県立船岡養護学校
宮城県名取高等学校	宮城県南郷農業高等学校
聖ウルストラ学院高等学校	仙台商業高等学校
常盤木学園高等学校	聖ドミニコ学院高等学校
宮城県第三女子高等学校	宮城県仙台南高等学校
仙台高等学校	宮城県名取北高等学校
宮城県仙台向山高等学校	宮城県亘理高等学校
宮城県泉高等学校	宮城県中新田高等学校
宮城県塩釜女子高等学校	宮城県築館高等学校
宮城県鼎が浦高等学校	宮城県第一女子高等学校
宮城県白石女子高等学校	宮城県松島高等学校

(37校)

大会事務局 〒980 仙台市荒巻字国見東山12番10号  
仙台高等学校内  
宮城県高等学校演劇協議会事務局  
(阿部順夫・渡辺喜雄)  
TEL 0222-71-4471

宮城県高等学校演劇協議会加盟校

尚絅女学院高等学校  
 仙台女子商業高等学校  
 仙台工業高等学校  
 東北高等学校  
 東北電子工業高等学校  
 聖教学園女子高等学校  
 山古賀美術学園高等学校  
 宮城学院高等学校  
 仙台白百合学園高等学校  
 宮城県名取高等学校  
 聖ウルスラ学院高等学校  
 青森木学園高等学校  
 宮城県第三女子高等学校  
 仙台第一高等学校  
 宮城県仙台南高等学校  
 宮城県農業高等学校  
 宮城県遠谷女子高等学校  
 宮城県鹿嶋が浦高等学校  
 宮城県白石女子高等学校

宮城県白石女子高等学校  
 宮城県黒川高等学校  
 宮城県多賀城高等学校  
 宮城県第二女子高等学校  
 朴沢女子高等学校  
 宮城県湯森高等学校  
 一馬学園女子高等学校  
 宮城県仙台第一高等学校  
 宮城県立船岡養護学校  
 宮城県南郷農業高等学校  
 仙台商業高等学校  
 聖マリア学院高等学校  
 宮城県仙台南高等学校  
 宮城県天童公園高等学校  
 宮城県登米高等学校  
 宮城県中新田高等学校  
 宮城県泉菜館高等学校  
 宮城県第一女子高等学校  
 宮城県松島高等学校

(訂校)

川名